



良質の生乳生産を目指して（瀬棚区）

北海道乳質改善大賞を受賞しました

瀬棚区西大里3区在住で新函館農業協同組合所属の竹浪潤牧場が、平成19年度北海道乳質改善対象を受賞しました。

これは、北海道乳質改善協議会が平成17年で50周年を迎えたことから、その記念事業の一環として「乳質改善大賞」を創設し、衛生的に優れた生乳生産を実践する酪農家を表彰することとされ、今回で3回目となりました。

同大賞は、今回22名受賞しており、各地区の乳質改善協議会から推薦され、日ごろより良質な生乳を継続的に生産し、経営的にも優秀かつ模範となる酪農家を対象に表彰されており、竹浪さんは、道南地区乳質改善協議会から推薦を受けての受賞となりました。

名誉ある賞を受賞した竹浪さんですが、「生産量は少ないが、良質な生乳を生産するとともに、経営的には和牛の素牛生産も考えていきたい」と淡々と今後の抱負を語っていました。



大成区上浦

故 大島 政勝さんが叙位を受章しました

元檜山広域行政組合大成町消防団団長の故大島政勝さんが叙位（従六位）を受章しました。

大島さんは、昭和21年から56年間の永きにわたり消防団員として、地域住民の生命財産を守り、消防組織の育成強化や火災予防の普及に努めるなど、消防活動に大きく貢献された功績が認められ今回の受章となりました。

今年の新採用職員をご紹介します よろしくお願いします!!



野邊 聡（のべさとし）

保健福祉課保健推進係長
（北檜山区 北海道派遣）

札幌から単身赴任で参りました。檜山管内に住むのははじめてですが、少しでも早くせたな町に慣れ、町民の皆様のお役に立てるようがんばりますので、どうぞよろしくお願いします。



高森 直也（たかもり なおや）

総務課総務係兼職員厚生係
（北檜山区）

皆さまはじめまして、高森直也と申します。せたな町は初めてですが、新たな故郷として誇れるよう精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



笹田 美沙代（ささだ みさよ）

保健福祉課保健推進係
（北檜山区 保健師）

今年の3月まで千葉で看護師をしていました。生まれ育った北海道に戻ってきたのは、高校を卒業して以来となりますが、早くせたな町になじみ、保健師として皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りたいと思います。



長谷川 久恵（はせがわ ひさえ）

保健福祉課保健推進係
（北檜山区 保健師）

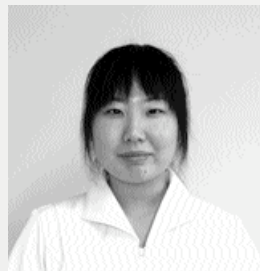
はじめまして、長谷川と申します。念願の保健師としての生活がスタートし、緊張しながらも楽しい毎日を送っています。「せたな町の保健師」として顔を覚えてもらえるよう精進いたしますので、よろしくお願いします。



大東 裕世（おおひがし ひろよ）

せたな町立国保病院看護係
（北檜山区 看護師）

はじめまして、大東と申します。札幌より越して参りました。せたな町の方は皆優しく接して下さいますので、新天地での不安が少しずつ和らいできております。早く町に慣れ、皆さまのお役にたてますよう頑張りますので、よろしくお願いします。



鈴木 愛美（すずき まなみ）

せたな町立国保病院看護係
（北檜山区 看護師）

今年看護学校を卒業し、地元であるせたな町に帰ってきました。看護の道を志した初心を忘れず「思いやりのある心と笑顔」をモットーに町民の皆様のお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いします。



善意に感謝申し上げます

橘建設(株)から交通安全グッズ 3/24

3月24日(月)、橘建設株式会社(代表取締役 坂下正治氏)より今年の新入学児童62名への交通安全グッズが寄付されました。これは、社会貢献活動の一環としての取り組みで、交通安全グッズとして、車のライトに光って反射する「ぶよぶよ反射キーホルダー」、「光る!反射シール」、「鉛筆5本セット」及び「巾着袋」の5点セットがそれぞれ贈られました。

交通安全を願って(北檜山区)

交通安全街頭啓発が行われました 4/10

4月10日(木)、渡島信用金庫北檜山支店前において交通安全協会(湯浅平男会長)主催による「交通安全街頭啓発」が行われました。これは、6日から始まった春の交通安全運動と「交通事故死0を目指す日」にあわせたもので、関係機関や団体が連携して行われました。参加した皆さんは、交通安全のタスキをかけて沿道に並びドライバーに交通安全グッズを手渡しながら「交通安全」を呼びかけました。



～サケの子どもの入学式?～(瀬棚区)

瀬棚小学校でサケの稚魚を放流 4/10

4月10日(木)、寒空のもと瀬棚小学校の2・3年生が、区内馬場川でサケの稚魚およそ1000匹を放流しました。

児童達は自分で用意したバケツなどに、先生から水と稚魚を入れてもらおうと、水をこぼさないようにとそっと稚魚を川へと運び、放し終えると走ってはまた稚魚をバケツに入れてもらいと、何度も何度も放流しました。児童の中には、「元気でね」とか「バイバイ」など一声かけながら放流する子もいました。児童達が一生懸命放流したたくさんのサケが、数年後にせたなの海から馬場川へと戻ってくることを期待します。

グリーンパーク・パークゴルフ場(北檜山区)

パークゴルフ場オープン 4/12

道内屈指の広さを誇る「北檜山パークゴルフ場」が4月12日(土)オープンし、この日を待ちわびていた愛好者らが初ラウンドを楽しみました。当日は、終日あいにくの雨模様でしたが、地元のほか札幌市、苫小牧市、八雲町、江差町などから37名の利用客が訪れました。利用客は、互いに「今年もよろしくお願いします」などとあいさつを交わしながら今年初のプレーを楽しんでいました。「シーズン券」好評発売中です。

